

# 令和3年度 予算施策評価表

様式1

施策名	文化に親しむ環境・機会づくり				予算施策コード	ky11	
担当部局名	教育委員会	指導部	義務教育課	評価責任者	課長 小池 達士	連絡先	4802

## 1 施策の内容

施策の目標	優れた芸術に触れる機会や様々な文化活動を体験する機会を充実することにより、幼児・児童・生徒の文化芸術活動への意欲を高めるとともに、新しい愛媛文化の創造を担う人材の育成をめざす。
これまでの取組み	<p>県内の幼児・児童・生徒が一堂に会して美術展や合唱、吹奏楽のコンクールに参加したり、学校や地域に、専門家による音楽や文化に親しむ環境・機会を設けたりすることにより、幼児・児童・生徒の感性を高め、豊かな情操を養う教育を推進に取り組んできた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもたちの豊かな情操を養う教育の推進</li> </ul> <p>県内の幼児・児童・生徒が芸術文化等に幅広く親しむ場を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・えひめこども美術展の開催</li> <li>・豊かな器楽体験推進事業、歌いつごう日本の歌開催事業</li> <li>・合唱や吹奏楽コンクールの実施</li> <li>・全国高等学校総合文化祭への派遣等</li> </ul>

## 成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	情操教育推進事業の支援者派遣校における参加人数	B	県高等学校総合文化祭に参加する生徒の人数							
選択理由	多くの児童生徒が楽器演奏や日本の歌に触れることにより、児童生徒の情操を豊かなものにし、情操教育の活性化が図られるため。	選択理由	県高等学校総合文化祭に参加する団体の中から優秀な団体を全国大会に派遣しており、参加生徒数の増加により事業の成果を測ることができるため。							
算定方法	「豊かな器楽体験推進事業」及び「歌いつごう日本の歌開催事業」実施校(地域)における参加者の合計	算定方法	県高等学校総合文化祭に参加する生徒の人数							
成果と指標の関係	中	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	+	成果と指標の関係	中	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(ストック/フロー)	+

## 指標・事業費・人件費の推移

区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	人			人			千円					
元年度	5,800	5,247	90.5%	4,000	3,707	92.7%	19,192		16,400	2,792		5,446
2年度	3,300	968	29.3%	3,750	3,454	92.1%	18,928		16,400	2,528	14,369	5,414
3年度	3,300	1,944	58.9%	3,750	3,142	83.8%	20,093		17,565	2,528	17,999	4,840
4年度 目標値	3,300			3,750			4年度当初予算					
最終目標	3,300			3,750			2,528					2,528

## 2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	幼児・児童・生徒の豊かな心の醸成は、一朝一夕には実現できない分野であり、成果についても、数値で測ることは難しいが、県内の児童生徒等が幅広い芸術文化活動に積極的に参加することが、新しい愛媛文化の継承に資する人材の育成につながるものと推察する。				
高い							
成果指標A		説明	令和2年度より事業縮小(歌いっごう日本の歌開催事業の実施数減)のため、目標値を見直している。 「豊かな器楽体験推進事業」及び「歌いっごう日本の歌開催事業」では、児童生徒が専門家による美しい演奏や優れた演奏に触れ、感動する体験を得られるよう工夫しながら事業を実施している。令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、支援者の派遣中止や実施規模の縮小を行ったため、目標値を大きく下回る結果となったが、令和元年度までは実績が90%を超えている。継続して実施することにより、より多くの児童生徒が音楽や文化に親しみ、豊かな情操を養っていくことができる事業であり、成果の向上が期待できる。				
成果動向	横這い						
成果向上余地	成果向上が可能						
成果指標B		説明	県内の高校生が幅広い芸術文化等に親しみ、県高等学校総合文化祭を開催することにより発表の場を提供するとともに、優秀な団体においては全国大会に推薦するなど目標をもって取り組める事業であり、成果が向上していると考えられる。				
成果動向	順調・向上						
成果向上余地	成果向上が可能						
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	2.17	順調・向上	成果向上余地	1.67	成果向上が可能	

今後予測される環境変化	今後とも県内の幼児・児童・生徒に対し、県が、幅広い芸術文化活動に参加できる機会を提供し、豊かな情操を養う教育を推進することは重要であるとする。
-------------	---

## 3 施策の今後の方向性

<p>幼児・児童・生徒が、芸術文化等に触れる体験活動を充実させるために、財源については、今後も県が負担しながら効果的な事業に取り組んでいく。</p>
--

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

										予算施策名					ky11	文化に親しむ環境・機会づくり						
<b>1 情操教育推進事業費</b>										コスト (単位：千円)					R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり
指標種類1	指標名称1		単位	計画	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	事業費計	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、支援者の派遣を中止したり、規模を縮小して体験活動を実施したりするなど、計画を変更しながら各学校における情操教育の推進に向けて取り組んだ。	方向1 方向2 方向3	このまま継続				
成果	+	70-	支援者派遣校における本 事業への参加人数	人	実績	5,247	968	1,944		国費												
			達成率		90.47%	29.33%	58.91%		その他													
指標種類2	指標名称2		単位	計画	21	15	15	15		県費	1,192	928	928	928								
活動	+	70-	情操教育推進事業の支援 者派遣校数	校	実績	24	6	12		事業費計	947	390	514		見直し 方向性							
			達成率		114.29%	40.00%	80.00%		国費													
指標種類3	指標名称3		単位	計画	1,700	1,600	1,100	1,100		その他												
活動	+	70-	美術展及びコンクールの 表彰人数	人	実績	1,622	0	1,063		県費	947	390	514									
実施 期間	初期	終期	事業の概要							人役	0.6	0.6	0.6									
	S42		知性と感性の調和のとれた発達を目指し、心身ともに健全な児童生徒を育成するため、豊かな情操を養う教育を推進する。							人件費	4,084	4,060	3,630									
<b>2 地域の魅力発信高校生サイクリング推進事業費</b>										コスト (単位：千円)					R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり
指標種類1	指標名称1		単位	計画	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	事業費計	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価	南予地区のリーダー校主催のサイクリング大会が悪天候により中止となったため指標種類2の達成率が低くなっている。また、自転車甲子園を開催し、各校の取組の成果を発表することができた。	方向1 方向2 方向3	休止・廃止				
成果	+	70-	サイクリングを通して地域への愛 着が高まった生徒の率	%	実績	80	83.7	86.4		国費	16,400	16,400	17,565	0								
			達成率		100.00%	93.00%	96.00%		その他	16,400	16,400	17,565										
指標種類2	指標名称2		単位	計画	300	300	300	300		県費												
活動	+	70-	リーダー校主催のサイクリング大 会に参加した人数	人	実績	300	253	240		事業費計	15,922	12,379	15,885		見直し 方向性							
			達成率		100.00%	84.33%	80.00%		国費	15,922	12,379	15,885										
指標種類3	指標名称3		単位	計画	6,000	6,000	6,000	6,000		その他												
活動	+	70-	地域の魅力発信マップの 配布数	枚	実績	6,000	5,000	6,000		県費												
実施 期間	初期	終期	事業の概要							人役	0.1	0.1	0.1									
	R1	R3	高校生が、自転車の魅力を体感し、高校生の目線でその魅力を発信する。また、自転車の安全利用やサイクリングを通して、高校生の健全育成を行うとともに、地域の自然環境や文化を学習することで、地域に愛着を持ち、地域の魅力を発信できる人材の育成を図る。							人件費	681	677	605									
<b>3 高等学校文化活動振興事業費</b>										コスト (単位：千円)					R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	1成果向上余地が小 さい
指標種類1	指標名称2		単位	計画	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	事業費計	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	評価	高校生の全国レベルでの文化交流を支援することにより、県内で文化活動を行う高校生が増加している。今年度は、新型コロナ感染症の影響で参加生徒数は減少したが、全国大会の文化交流を通じて、高校生の県全体の文化活動が活発となり、愛媛の文化の質を高めていく上からも、当事業の必要は高い。	方向1 方向2 方向3	このまま継続				
成果	+	70-	県高文祭に参加する生徒 の人数	人	実績	3,707	3,321	3,142		国費	1,600	1,600	1,600	1,600								
			達成率		98.85%	88.56%	83.79%		その他													
指標種類2	指標名称3		単位	計画	270	270	270	270		県費	1,600	1,600	1,600	1,600								
成果	+	70-	全国高文祭参加人数	人	実績	379	285	185		事業費計	1,600	1,600	1,600		見直し 方向性							
			達成率		140.37%	105.56%	68.52%		国費													
指標種類3	指標名称1		単位	計画	50	50	50	50		その他												
活動	+		全国高文祭参加団体数	団体	実績	73	66	63		県費	1,600	1,600	1,600									
実施 期間	初期	終期	事業の概要							人役	0.1	0.1	0.1									
	S57		全国高等学校総合文化祭への生徒派遣事業を愛媛県高等学校文化連盟に委託して実施し、高校生による文化交流を図るとともに、県立高校等における創造活動の活性化を図り、本県高校生の文化活動の発展と芸術文化の振興に資する。							人件費	681	677	605									